



6月定例会

条例など13議案等を審議……………	2 P
定例会議決結果……………	3 P
15名が一般質問……………	5 P
市民の声……………	16 P

No. 199

令和4年6月定例会号／2022年8月1日発行

いるま 市議会 だより



- 専決処分 3件 ◀
- 人事案件 4件 ◀
- 条例 2件 ◀
- 一般議案 2件 ◀
- 令和4年度補正予算 2件 ◀

第2回定例会

👉 13議案を審議

条例

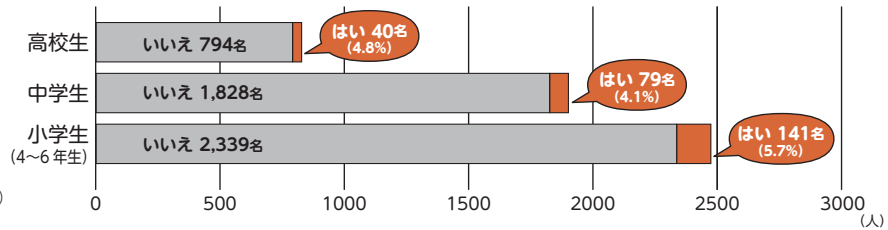
一部 改正 条例	議案第42号	入間市税条例等の一部を改正する条例
新規 条例	議案第43号	入間市ヤングケアラー支援条例

入間市ヤングケアラー支援条例

全てのヤングケアラーが個人として尊重され、心身の健やかな成長及び自立が図れるよう、ヤングケアラーを早期発見し適切に支援するものです。

Q. 自分が「ヤングケアラー」だと思いますか。

(入間市ヤングケアラー実態調査結果より)



「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うような家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものことです。

「子ども」が「子どもらしく」いられるために何が出来るだろう？



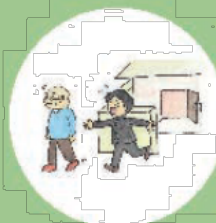
病気や障がいのある家族に代わり、家事をしている



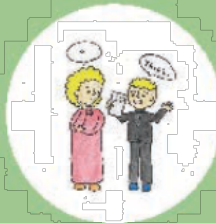
家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族の対応をしている



目が離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が話せない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



心が不安定な家族の話聞いている



病気や障がいのある家族の身の回りの世話をしている



がん・難病など慢性的な病気の家族の看病をしている



家計のために働いて、病気や障がいのある家族を助けている



病気や障がいのある家族の入浴やトイレの介助をしている

賛成

自由民主党入間市議団

公共施設キャッシュレス決済推進事業は、窓口における接触機会を減らすとともに、会計時の混雑緩和を図ることで、感染予防の推進と市民の利便性の向上、事務の効率化を図るものである。

新庁舎等整備事業の債務負担行為の設定は、設計、建設工事費等に加え、令和22年度までの維持管理・運営費の総額を計上したものであり、114億2千万円という限度額は適正に積算され、認定されたものである。今回計上されている補正予算は、いずれも妥当かつ適正な予算措置と認められることから、賛成する。

議案第46号

令和4年度入間市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億849万1千円を追加し、総額を455億5,970万7千円とするものです。歳入は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、歳出は新型コロナウイルス感染症緊急対策事業が主なものです。

また、債務負担行為は新庁舎等整備事業（維持管理・運営費（15ヵ年）含む）に係る経費として114億2千万円を設定するものです。

反対

日本共産党入間市議団

庁舎整備は、DBO手法を用いて、設計、建設、維持管理、運営を一括発注するもので、維持管理、運営費（15年）を含め、限度額114億2千万円の債務負担行為の設定。将来負担を負う市民に丁寧な説明をすべきだが、事業費増額の説明は不十分。市は行政改革と称して、市独自の支援策を廃止・削減し、介護保険料や国保税値上げ等、サービス削減と負担増を実施。原油高、円安、物価高騰で先行きが見通せない情勢。庁舎整備は耐震不足のAB棟のみに縮減すべき。市民生活は厳しく、支援策が必要など。114億2千万円もの債務負担行為には反対。

賛成

公明党入間市議団

歳入の主なものは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で、感染拡大防止策の13事業を実施するもの。歳出では、公共施設にキャッシュレス決済や児童生徒のオンライン環境整備を図るもので、評価する。

新庁舎等整備事業の債務負担行為は、適正な積算と、物価高騰などのリスク要因をも考慮した限度額の設定を評価。市民へも説明会、パブリックコメントやアンケートなどで意見聴取を実施。耐震化という課題を先延ばしせず、市民の安心・安全を最優先に一刻も早く推進されることを期待し賛成。

請願処理経過報告

市議会で議決された請願の議決結果は市長に対して送付されます。

そのうち採択となったものは、請願処理経過の報告依頼を行い、市長から定期的に報告を受けます。今回の報告は令和2年第3回定例会（9月定例会）で採択された請願の処理報告を5月30日に受けましたのでお知らせします。

入間市におけるパートナーシップの認証制度（仮称）および性的少数者に関する諸問題への取り組みに関する請願

請願内容（要約）

平成27年に渋谷区で「同性パートナーシップ条例」が創設。その後、同性同士を含めたパートナーの認証制度が数多くの自治体でも創設。県内では、23市町議会で請願や陳情が採択されている。同性同士で生活する者も含め家族として扱う「パートナーシップの認証制度（仮称）」を早期に創設し、存在を公に認め、性的少数者にとっても住みやすい、魅力あるまちづくりを切望する。

審議の結果、全員一致で採択と決定した。

請願報告（要約）

令和3年9月に「入間市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」を施行。宣誓者に未成年の子どもがいる場合、子を含め家族として宣誓するファミリーシップ制度も併せて整備。

令和4年度から令和8年度を計画期間とする第5次いるま男女共同参画プランを策定し、計画に基づき性的マイノリティに対する理解促進と支援に取り組んでいる。

今回の請願に対する経過報告は以上とする。



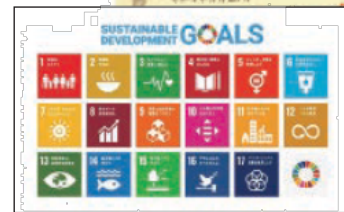
住んで健康になる まちづくりとは

双木 小百合 議員

- ・ **質問** 30~50年後を見据えた市政とは。
- ・ **市長** 挑戦する市政、市民の命を守り誰一人取残さない地域社会、価値を生み出す行政改革で効率的筋肉質な市役所を目指す。
- ・ **質問** 未来共創推進室の機能と展望は。
- ・ **市長** 未来の入間市を切り拓くため縦割り行政を打破しプロジェクト主体で動ける部局横断的で柔軟な組織が必要。市の未来構想から官民連携のプラットフォーム、プロモーションまで一貫して取り組む市長直轄の未来共創推進室を企画課内に設置。現在は外部専門家の助言により、効果的な情報発信を目指した取り組みに着手している。
- ・ **質問** SDGs推進の展望は。
- ・ **市長** 官民連携で地域資源を生かした未来共創まちづくりの提案が未来都市に選定。

誰もが心身ともに健康で幸せを実感できる「Well-being Cityいるま」実現のため、経済面のスマート農業・食品・医療産業を創出する「スマートヘルス・シティ」、社会面の健康寿命を延伸する「ウェルネス・シティ」、環境面の公民連携の地域新電力による「ゼロカーボン・シティ」の実現に取り組む。

【その他】外出モチベーション向上による健康寿命延伸・地域参加でささえ合う健康まちづくりの展望



入間市「2022年度SDGs(持続可能な開発目標)未来都市」に選定



入間市DXビジョン 実現に向けて

末次 正 議員

- ・ **質問** 手数料10円に値下げ後の、コンビニ交付と窓口交付の変化は。
- ・ **企画部長** 令和3年度のコンビニ交付率は8.8%、10円交付開始後の本年3月は、22.2%、徐々にコンビニ交付が増加傾向。
- ・ **質問** 10円交付によって、J-LISへ約27万円の支払増となるが、窓口交付の担当者が他の窓口へ異動することで、人件費を減らすことができる。マイナンバーカードの利用推進が、行政の効率を上げる好例では。
- ・ **企画部長** そのように認識する。
- ・ **質問** 昨年10月からカードの健康保険証利用が本格スタート、本市の状況を問う。
- ・ **健康推進部長** 5月末で市内15の医療機関、9の薬局が参加。
- ・ **質問** 保険証利用に必要なカードリーダー

ーは埼玉県で56.4%の申込率。納入まで時間がかかるため保険証利用が進んでいないのでは。

健康推進部長 カードリーダー不足も進まない一因と思われる。しかし、国も導入を推進しており、今後は進むと考える。

質問 尿漏れパッドを使用している男性のために、公共トイレの男性用個室にサニタリーボックス設置を求める。見解を問う。

企画部長 可能なトイレから設置を進めていく。



各種証明書を、窓口交付からコンビニ交付へ



防災訓練・市営住宅・リース契約

大野 勉 議員

- ・ **質 問** コロナ禍で人と人の関係が希薄となり、あらゆる面でコミュニティの存続が危ぶまれているが、今年度の防災訓練は。
- ・ **危機管理監** 避難所の開設や運営の訓練を実施し、「共助」の強化を図りたい。
- ・ **質 問** 市長として、自主防災会へ期待するものは。
- ・ **市 長** 地域がお互いに協力して助け合う「共助」が必要不可欠であり、市民が一丸となって災害対応することにより、復旧や復興をいち早く展開できるものとする。
- ・ **質 問** 市営住宅ストック活用計画の基本理念実現に向けた取り組みは。
- ・ **都市整備部長** 高齢者の入居割合が高いため、バリアフリー化改修等を実施する。
- ・ **質 問** 木造の市営住宅の今後の方針は。

市 長 用途廃止後解体し、用地は売却しているが、基金の取り扱いはしていない。今後、先進自治体の事例などを研究する。

質 問 庁用車購入において想定されるリース契約のメリット、デメリットについて。

総務部長 初期費用を抑えられる等のメリットがあるが、手数料などで支払い総額が割高になる等のデメリットが挙げられる。

質 問 今後のリース契約におけるリースアップ導入の検討について。

市 長 最適な契約方法を研究していく。



防災訓練：災害対策本部と避難所開設訓練の様子



保健行政・健康行政

細田 智也 議員

- ・ **質 問** がんサバイバーだけでなく、加齢等による尿漏れパッド、痔を患っておられる方もパッドを利用している。捨てる場所がなく困っておられる方々がいるが、男性トイレに汚物入れの設置はできないか。
- ・ **企画部長** 本庁舎から設置を行い、他の施設についても順次設置を進める。
- ・ **質 問** 過去3年のがん検診の受診状況は。
- ・ **健康推進部長** 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は受診率が低下したが、3年度は例年通りの受診状況。
- ・ **質 問** がん検診受診率の向上に向け、どのような対策を講じていくのか。
- ・ **健康推進部長** 精度の高い検診の導入や、SNSによる情報発信等を検討していく。
- ・ **質 問** 死産・流産でお子さんを失った悲

しみに対する社会の理解は、十分ではない。周産期グリーフケアについてどのように認識しているのか。

健康推進部長 重要性を認識し、適切に対応していかなければならない。

質 問 周産期グリーフケア体制を構築するための今後の取り組みは。

健康推進部長 個々に状況が異なるため、職員の育成等を図り、医療機関等と連携を密にし、当事者に寄り添った相談支援体制に取り組んでいく。



男性トイレにサニタリーボックス



プラごみ・ ペット同行避難

永澤 美恵子 議員

- ・ **質 問** 本年4月、2050年カーボンニュートラル実現を目指して「プラスチック資源循環促進法」が施行された。固形プラスチックも含めた全てを再資源化する取り組みであり、事業者・消費者ともに大きな意識変革が必要と認識する。①市の現状②今後の取り組みについて伺う。
- ・ **環境経済部長** ①プラごみは、収集後リサイクル業者へ直接搬入され、再資源化している。②令和5年4月から不燃ごみに分別していた固形プラスチックを資源ごみとして一括回収する方向で丁寧に進めていく。
- ・ **質 問** 新地域防災計画では、ペット同行避難について受け入れ体制が明確になった。長期的な避難所生活では、ペットと共に過ごせるスペースを確保すべきでは。

危機管理監 基本的にペットは専用スペースに避難する予定。今後研究していく。

質 問 ペット同行避難マニュアルをペットショップや動物病院に配り周知すべき。

環境経済部長 実施する。

質 問 博物館アリットの館庭は、地域の憩いの場となっている。現在禁止しているペットを連れての入場制限を撤廃し、他の公園と同等の利用形態にすべきでは。

教育部長

今年度、作成予定の館庭使用ガイドラインの中で検討する。



入間市ペット同行避難マニュアル



環境行政・防災行政・ 農業行政

吉田 賢一 議員

- ・ **質 問** ごみの減量に向けた取り組みは。
- ・ **環境経済部長** 3Rの推進・食品ロスの削減・ごみ分別の徹底の周知、家庭ごみ組成分析調査を実施する。
- ・ **質 問** ごみ袋の有料化について。
- ・ **環境経済部長** 住民アンケート調査をして検討資料とする予定。
- ・ **質 問** V2Hの補助について。
- ・ **環境経済部長** 条件が合えば30万円補助する。広報いるまなどでお知らせする。
- ・ **質 問** 公用車のEV化について。
- ・ **環境経済部長** 年内に運用を開始したい。10台導入予定で2台は市庁舎正面玄関前に設置し、シェアリングする。
- ・ **質 問** 防災拠点となる地区センターに消防団車庫は隣接できないか。

市 長 用地に関する課題を抱えており、消防団車庫の隣接は困難な状況である。

質 問 お茶の葉の消費量について。

市 長 年々減少傾向である。

質 問 お茶の葉の消費量増加について。

市 長 狭山茶の魅力をもっとPRしていく。

質 問 給茶機の設置について。

市 長 感染予防上、現時点では学校へ給茶機を設置することは難しい。何らかの方法で、児童・生徒へ狭山茶が提供できるように検討していく。



入間市観光協会で販売しているお茶



学校給食費負担軽減・ ミライロID

向口 文恵 議員

- ・ **質 問** 物価の高騰は市民生活を直撃している。①学校給食の現場での影響は。②「地方創生臨時交付金」を活用して学校給食費の負担軽減を。
- ・ **教 育 部 長** ①品質を重視し安価な食材を使用。肉の部位や調理方法を変更し、栄養価を整えつつコスト削減への工夫を実施。
- ・ ②保護者の負担軽減のため当交付金を活用。
- ・ **質 問** スマートフォンの普及率は8割を超え利用頻度の高い道具となっている。①防災用アプリケーションの導入。②自治体情報を一括したアプリケーションへの見解。
- ・ ③スマートフォン向け、障がい者手帳アプリ「ミライロID」の活用に対する見解。
- ・ **危機管理監** ①導入に向けた検討を行う。
- ・ **企画部長** ②情報発信の方法を検討する。

福 祉 部 長 ③年度内に調整し導入を図る。
質 問 民間保育園の借地料補助金が段階的に削減されることとなった。①削減実施の経緯。②開始当時の補助金交付の目的。③一律ではなく個々の園への丁寧な対応を。

こども支援部長 ①昨年の各種社会福祉施設の土地借り上げ料の見直しから保育施設も見直すこととなった。②保育施設等の安定的な運営に寄与することを目的とする。③段階的な減額で配慮している。引き続き個々の施設に寄り添った対応を行っていく。



スマホ向け
障がい者手帳アプリ
「ミライロID」



民間保育士の処遇改善・ 藤沢橋

池 畠 司 議員

- ・ **質 問** 民間保育士の(1)支援の現状は。(2)より充実した支援の周知を。(3)処遇改善の余地。(4)「住んでよし、働いてよし」への波及。
- ・ **こども支援部長** (1)職員地域手当補助金や職員福利厚生費補助金、職員健康診断料補助金など。職員地域手当補助金は、常勤職員1人につき月額12,700円を上限に給付するもの。(2)市公式ホームページ等での情報提供を開始したい。(3)職員地域手当補助金は、常勤職員1人につき月額12,700円を給付している。令和2年4月に1,000円の増額改定をした額であり、公立保育所の保育士とのバランスなども考慮して定めたもの。現時点で増額改定の予定はないが、国や県、近隣市等の状況を研究し、今後も引き続きの検討が必要。

市 長 (4)民間保育施設は大変重要な子育て資源。約7割の子どもが民間に通う。都内と比較される中、保育士の方に入間を選んでもらえることはありがたい。支援内容を周知し、充実させ、働いてよしにつなげ、子育て世代の住んでよしにつなげたい。

質 問 県道8号川越入間線、藤沢橋架け換え工事後の南側市道の復旧は。

都市整備部長 新たな歩道橋が設置され、全ての工事が完了する令和6年3月末には、以前と同様に通行が可能に。



市内の民間保育施設（わかばの森保育園）



地域公共交通計画の見直し

野口 哲次 議員

- ・ **質問** 平成28年12月に策定した入間市地域公共交通網形成計画は、学識経験者、住民、交通事業者、行政により組織された地域公共交通協議会において取りまとめたもの。施策のうちコミュニティバスについては、市の負担を変えずに、利便性の向上と金子、宮寺の空白地域の解消を実現した。
- ・ 令和4年度に協議会で計画の見直しを行うとのことだが、スケジュールは。
- ・ **都市整備部長** 7月から9月に、バス利用者のニーズ調査と3,000人を対象とするアンケートを行い、10月から令和5年3月にかけて協議会で協議し、本年度末には、次期地域公共交通計画を策定する。
- ・ **質問** アンケート等では、コミュニティバスによる空白地域の解消や現路線の利便

性の向上の声が上がってくるだろう。利用者が減少している中での検討だけに、地域公共交通の役割と価値をどう認識しているかが見直しを左右する。どう捉えているか。

市長 国の基本方針に、「コンパクトなまちづくりの実現」「まちのにぎわいの創出や健康増進」「人の交流の活発化」「環境問題への対応」を図ることが示されており、入間市としても地域住民の移動手段の確保やきめ細かな交通サービスの提供によるまちづくりが重要であると理解している。



ていーろーどと
ていーワゴンのバス

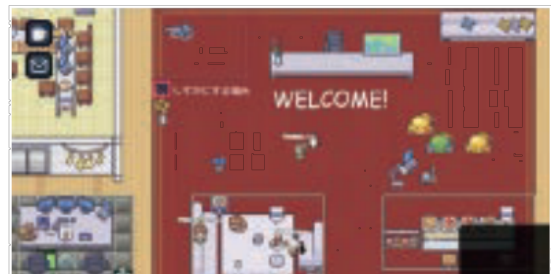


不登校・ウィズコロナ・ごみ対策

古仲 リカ 議員

- ・ **質問** 不登校対策(1)現在の状況、コロナ禍で中止していた学校行事等を実施してほしいが開催状況は(2)不登校対策で取組んでいる内容は(3)平日過ごせる「こどもの居場所」が必要と考えるが入間市にはあるのか。
- ・ **教育長** (1)新学期から学校へ復帰する児童生徒は増加。校外学習・修学旅行等ほとんど実施している(2)学校復帰の手助けとして「ルームケイ」と呼ばれる仮想空間を用いてインターネット上で自らのアバターを通し、人とかかわる経験等を学ぶ支援を実施(3)図書館本館3階に、小・中学生対象の学校復帰を目的とした「ひばり教室」を設置。
- ・ **質問** ウィズコロナ対策(1)感染者数の推移を他市との比較等でわかりやすい表示を。(2)埼玉県PCR検査無料化事業の実施期間は。

- ・ **健康推進部長** (1)既存モニターの活用を検討(2)令和3年12月下旬から令和4年6月末までを予定、感染状況により変更もある。
- ・ **質問** 濃厚接触者の定義が変わったが、パルスオキシメーターの貸出と配食状況は。
- ・ **危機管理監** 機器は自宅療養者を対象に貸出、配食の対象者は令和4年4月21日、県と同様「陽性者本人のみ」に変更。
- ・ **質問** ごみ収集の周知方法の一環としてアプリの官民連携を検討してみてもは。
- ・ **環境経済部長** 企業に対し確認していく。



NPO 法人カタリバのバーチャル空間を用いた room-K (ルームケイ) の様子



コロナ対策・ 不老川治水対策

松本 義明 議員

- ・ **質 問** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した施策は公表することが求められるが実施状況と評価は。
- ・ **企画部長** 個々の事業についてこれから評価となるが市民の声を事業に反映することに努めた。今後は感染拡大防止と経済対策のメリハリのある施策を工夫していく。
- ・ **質 問** 今後のコロナ対策は継続的な施策につながる仕組みづくりを進めるべきでは。
- ・ **企画部長** 長期的展望で施策を検討する。
- ・ **質 問** 平成28年の台風9号で大きな被害があった不老川流域の治水対策を一刻も早く着実に進めていただきたい。不老川緊急治水対策事業の進捗状況は。
- ・ **都市整備部長** 令和5年3月末までの工期であり完成に向けて工事を進めている。

質 問 大森調節池より上流の宮寺地域への更なる治水対策を進めていくべきでは。

都市整備部長 改めて調査を実施する。必要があれば対策について協議していく。

質 問 河道拡幅の早期着工に向けて県に要望を続け治水対策を進めていくべきでは。

都市整備部長 引き続き県に要望する。

【その他】

福祉の総合相談として総合相談支援室、地区センターの福祉総合相談、専門性を高める研修と専門職の活用について質問した。



大森調節池拡張整備の状況



飯能県土整備事務所 市内の製造業

宮岡 治郎 議員

- ・ **質 問** 入間市を管轄する、埼玉県飯能県土整備事務所について。(1)「事務所」の業務とは、ほぼデスクワークか。(2)防災体制の強化等、入間市との今後の更なる連携は。
- ・ **副市長** (1)現場での監理監督や立会、現状把握等、外での業務も多い。(2)河川の危機管理型水位計・監視カメラ、土砂災害の観測機器を設置し、情報を共有する。震災時の緊急輸送道路の整備でも、連携が必要。
- ・ **質 問** 市内の製造業について。(1)企業の業種の傾向はどうか。(2)事業所のオートメ化で、市民の雇用状況は。(3)『狭山台土地区画整理』の工業系用途地域の目的は。(4)入間市との交流は。(5)「企業誘致戦略」で、新産業を積極的に支援する具体的な方法は。
- ・ **環境経済部長** (1)生産用機械器具・金属

製品・電気機械器具の製造が多い。(2)従業者で、市内在住者の割合は変化していない。

都市整備部長 (3)圏央道入間ICの整備を契機に、武蔵工業団地と一体となる、本市の中核的な工業地の形成が目的であった。

市長 (4)市と工業会の共催のオープンファクトリー等、様々ある。(5)5月20日に『SDGs(持続可能な開発目標)未来都市』に、内閣府から選定された。新産業の用地の創出、人材育成、創業に伴う助成、相談、工場・研究所の新設の設置費用の助成等。



5市2町を管轄する、埼玉県飯能県土整備事務所の庁舎(上段)、倉庫(下段)





基地跡地の活用・ 庁舎整備は縮減

安道 佳子 議員

- ・ **質 問** 旧東町側留保地に整備された運動施設や自衛隊病院の市民利用の手続き等ハードルが高い。改善を求めるべきでは。
- ・ **市 長** 防衛施設のため一定のセキュリティが求められる。今後、市民利用の拡大に向け協議を重ねる。平日の日中利用も要望している。病院の一般開放に向け今後も協議を重ねていきたい。
- ・ **質 問** 入間市駅前側留保地の利用計画変更の経緯と市民意見の反映について。
- ・ **市 長** 市の財政状況では開発は厳しいと判断。都市再生機構のアドバイスを得ながら進める。市民参加型ワークショップを計画している。来年には計画確定したい。
- ・ **質 問** 市民の意見を反映させるためには、時間をかけて、計画の検討をすべきでは。

- ・ **市 長** 駅前開発の先送りは考えていない。
- ・ **質 問** 市庁舎整備について事業変更等が続いた。市民説明会での意見は。
- ・ **総務部長** 「何故、事業費が増えたのか。市民協働棟は必要ない。今後、民生費の確保が必要。」等の意見が寄せられた。
- ・ **質 問** 円安・物価高騰で市民生活は大変な状況下。庁舎整備は大幅縮小すべきでは。
- ・ **市 長** 庁舎は耐震を満たしていないため、建て替えが必要。将来に負担を先送りせず、庁舎整備を官民連携で進めたい。



建て替え計画のある入間市役所



インボイス制度 重要土地等調査法

佐藤 匡 議員

- ・ **質 問** 来年10月のインボイス制度導入による入間市への影響について。
- ・ **市 長** 一般会計や上下水道事業会計において、事業者としてのインボイス制度の対応として適格請求書発行事業者の登録が必要となる。そのため、納入通知書等の様式変更に伴う印刷や例規改正、システム改修等の対応が生じてくる。事業者への影響は、複数税率を計算する手間が大幅に軽減でき、事務が効率化される。納税額の計算や消費税額を正確に把握でき、消費税に関する仕入税額控除のミスを防ぐことができる。取引先がインボイス制度に登録し、適格請求書の発行事業者にならないと取引が成立できないことも想定されるので制度の周知をしていく。

- ・ **質 問** インボイス制度の中止・廃止の要請を国に求めるべき。
- ・ **市 長** 今後インボイス制度の周知等をしていくが、中止・廃止を行う予定はない。
- ・ **質 問** 重要土地等調査法（土地利用規制法）の廃止の要請を国に。
- ・ **市 長** 法の廃止を国に求める考えはない。市域に基地を有する自治体として、国に対しては、いかなる場合においても市民の利益を損なうことのないよう、不安を招くことのないよう説明を求めていく考えである。



入間市マスコットキャラクター
いるティー



学校統廃合・
学校トイレ生理用品

小出 亘 議員

- **質問** 西武中と野田中の間には入間川が流れているため、必ず中橋か上橋を渡らなければ通学することはできない。中橋と上橋とその近辺だけを見ても、多数の生徒が自転車などで通学するには大変危険な状況。
- 野田地区の道路は狭隘^{きょうあい}な道路が多く存在し、野田中学校と西武中学校を統合することによる、危険な通学路への現状認識は。
- **市長** 危険な部分があることは認識している。
- **質問** 当初は西武中が野田中に統合され、西武中が廃校にされる計画案が示されていた。それが急遽、野田中が西武中に統合され、野田中が廃校にされる計画となった。さらに、2022年に統廃合が行われると示されていたものが、第2期上半期に延期され

た。特に野田地域の住民の理解を得られていないのでは。

市長 住民の理解はおおむね得ていると認識している。

質問 生理用品を保健室にもらいに行くことは、ハードルが高い。トイレの個室に設置したほうが、生徒にとって安心なのは。試験的配置、アンケート実施は。

教育長 現在のところトイレへの設置は考えていないが、アンケートの実施を含め今後、検討したい。



中橋通りから野田へ続く部分の危険な交差点

政務活動費の収支報告を公開しています！

『入間市議会政務活動費の交付に関する条例』の定めに基づいて、市議会議員の調査研究その他の議会活動のために必要な経費の一部として、会派に対し政務活動費を交付しています。

● **交付対象**

会派（所属議員が1人の場合も含む）

● **政務活動費の額**

会派の所属議員一人当たり月額20,000円
（年間240,000円）

● **政務活動費の交付**

会派からの請求により、毎年4月と10月にそれぞれ半期の月数分を交付

● **収支報告書等の提出**

- 交付を受けた会派は、政務活動費に係る収入及び支出の報告書、事業実績の報告書を議長へ提出
- 報告書を提出するときは、領収書を添付
- 残金が生じた場合は、当該残金を市長に返還

● **使途基準**

政務活動費を交付された会派は、使途基準によって政務活動費を使っています。
なお、市政に関する調査研究、その他議会活動のために必要な経費以外に使うことは禁止されています。

※使途基準については、市議会ホームページに掲載しています。

● **情報公開**

提出された収支報告書の内容及び添付された全領収書等を入間市議会ホームページ上で公開しています。
また、収支報告書（領収書含む）及び事業実績報告書の過去5年分について、その写しを市政情報コーナー（市役所B棟3階）で、常時閲覧することができます。

委員会を紹介します

委員会は、本会議で議決する前にいくつかの部門に分かれて専門的に審査する会議です。入間市議会では、総務常任委員会、都市経済常任委員会、福祉教育常任委員会の3つの常任委員会、議会運営委員会および2つの特別委員会が設置されています。

総務常任委員会

企画部、総務部、市民生活部、危機管理課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会に関する事項、他の常任委員会に属しない事項を審査。

委員長 宮岡治郎

副委員長 大野 勉

委員 安道佳子 向口文恵 吉田賢一
細田智也 内村忠久 横田淳一

都市経済常任委員会

環境経済部、都市整備部、上下水道部、農業委員会に関する事項を審査。

委員長 長谷川 涉

副委員長 双木小百合

委員 佐藤 匡 永澤美恵子 野口哲次
鈴木洋明 小島清人

福祉教育常任委員会

福祉部、こども支援部、健康推進部、教育委員会に関する事項を審査。

委員長 古仲リカ

副委員長 池 嶋 司

委員 小出 亘 末次 正 金澤秀信
松本義明 紺野博哉

議会運営委員会

議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項。

委員長 松本義明

副委員長 向口文恵

委員 小出 亘 永澤美恵子 長谷川 涉
紺野博哉 小島清人 宮岡治郎
古仲リカ

公共施設最適化検討特別委員会

市庁舎・市民会館並びに市内公共施設のマネジメントに関する事項を諸問題とし、あわせて第1期での統廃合が検討される小・中学校の現地調査等を行う。

委員長 松本義明

副委員長 長谷川 涉

委員 安道佳子 双木小百合 金澤秀信
永澤美恵子 内村忠久 小島清人
宮岡治郎

委員会を紹介します

基地対策特別委員会

ジョンソン基地跡地利用と入間基地・横田基地に関する諸問題を、調査研究及び提案を行う。

委員長 古仲リカ

副委員長 吉田賢一

委員 佐藤 匡 末次 正 向口文恵
池 畠 司 大野 勉 紺野博哉
横田 淳一

旧東町留保地内で、防衛省による災害対策拠点施設等の整備工事が、令和3年12月末に完了し、令和4年3月17日に自衛隊入間病院が開院しました。

また、入間基地病院グラウンドも完成し、入間市内のスポーツ登録団体の利用が可能になりました。（※但し、基地の活動に支障のない範囲で）

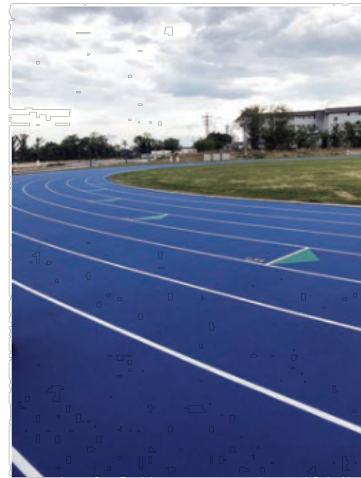
市議会基地対策特別委員会では、令和4年4月26日（火）に、入間基地災害対処拠点施設の現地調査を実施しました。対象は、自衛隊入間病院の病院棟、教育棟、入間基地病院グラウンド（陸上競技場、サッカー場兼ソフトボール場等）です。

病院棟では、ワクチン接種会場が開設されており、自衛隊員へのワクチン接種が実施されていました。

教育棟では、自衛隊員の救急救命士養成の一環として、ダミー人形への動作を視察し、説明を受けました。

グラウンド施設の概要

- 陸上競技場（全天候型舗装・平日ナイター利用可能）
トラック：1周400m／9レーン
フィールド：トラック内フィールドのサッカー場天然芝
- サッカー場兼ソフトボール場（クレイ舗装）西面・東面の2面
- 駐車場（約300台）／トイレ／水飲み場



トラック



教育棟の玄関



病院棟



病院内



駐車場に隣接するトイレ付近の航空自衛隊デザインマンホール蓋

入間市議会 傍聴

市議会で行われる本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。

議会活動や市の施政方針、身近な問題が審議・決定される等、市議会の活動にふれることができる身近な方法です。

また、車いすでの傍聴、聴覚に障害がある方等の傍聴（ヒアリンググループ、手話通訳者・要約筆記者派遣は事前に申請が必要です。）もできますので事務局までご連絡ください。

なお、感染症の拡大を防止するため、傍聴される際は、検温、マスクの着用、手指消毒等の感染症対策にご協力ください。体調がすぐれない場合は傍聴をご遠慮いただく事もあります。

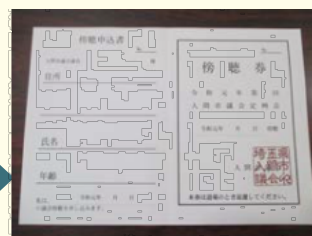


市役所正面玄関から入り、西口エレベーターで5階まで上がります。

5F



エレベーターを降りると、正面に傍聴受付があります。（検温、手指消毒にご協力ください。）



傍聴申込票に「住所」「氏名」「年齢」を記入し、傍聴券と傍聴資料を受け取ってください。



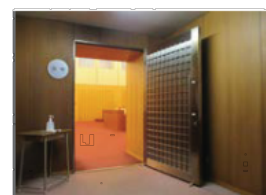
受付の左右にある傍聴者入口より入場してください。



感染症拡大防止のため、傍聴席は33席（車いす用傍聴席3席を含む）です。



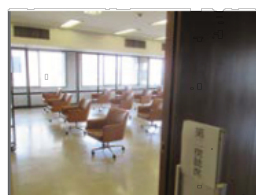
お帰りの際は、傍聴券を受付に返却してください。



扉を開放し常時換気



間隔を空けた傍聴席



第二傍聴席(16席)の設置



《前号No.198令和4年3月定例会号の討論掲載記事の訂正とお詫び》

6ページ上段の見出し「決算」とあるのは誤りで、正しくは「予算」です。訂正し、お詫びいたします。

入間市インタビュー 市民の声

interview1



生きる町

【東藤沢】

杉山 若江

「人生100年時代」と言われるが、心身共に元気で我が家で、自立した生活を送って生きたいと願うのは誰も同じ事。

結婚と同時に家を求めて入間に住んで半世紀、終の棲家入間に愛着を持つ年齢となりました。

高齢者の健康維持を目的に市民ボランティア「いこいこクラブ」を主催して15年。過日市の出前講座でゴミ問題を学びました。毎日ゴミは仕分けて排出しますが、仕分けが複雑で混じると取り残されます。市は減量と言うが大量に多いのが食品過剰包装のプラスチック、可燃ゴミの中にも生ごみ4%に対しプラスチックは39%とある。広報記事を読むのは面倒な高齢独居人は多い。クリーンセンターや高齢者支援課の職員が共に、高齢者は何が困難なのか知って欲しい。入間市はごみチャンネルや生ゴミ週3回収集等素晴らしく住んで良かったと思う。

interview2



60年の歩み

【下藤沢】

斉藤 文子

昭和35年、入間市下藤沢にお世話になりその当時は武蔵町でした。

昔は、小さな農村地域で養蚕・養豚・野菜等で生計を立てていました。

昭和39年の前回東京オリンピックの頃から、人口が増加し土地の売買が非常に盛んになりました。あっという間に、住宅が出来、賑やかな街並みとなりました。その後、昭和41年11月1日現在の入間市として新たなスタートを切りました。

その後、昭和62年市の一大事業として武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業が始まりました。令和3年、30数年の長い月日が経ちようやく完了致しました。

市役所の皆様、関係各位の皆様には大変お世話になりました。

下藤沢地区の住民代表として非常に感謝しております。

いるま市議会だより No.199

編集 / 議会広報委員会

◎宮岡 治郎
○吉田 賢一
小出 亘
池島 司
大野 勉
双木小百合
細田 智也
金澤 秀信
古仲 リカ



表紙 / 青少年活動センターの野生のムササビ

発行 / 入間市議会

インターネットアドレス
<http://www.city.iruma.saitama.jp/gikai/>
または「入間市議会」で検索



9月定例会日程案

- 8月30日(火) 開会
- 9月5日(月) 総括質疑
- 9月6日(火) 総括質疑
- 9月7日(水) 総務常任委員会
- 9月8日(木) 都市経済常任委員会
- 9月9日(金) 福祉教育常任委員会
- 9月13日(火) 一般質問
- 9月14日(水) 一般質問
- 9月15日(木) 一般質問
- 9月22日(木) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。

